

# 総務文教委員会会議録

平成24年4月12日

9時58分 開会  
10時39分 閉会

網走市議会

午前9時58分 開会

○小田部委員長

おはようございます。

きょうは、議長と局長が公務でいないというふうなこと、しかも、総務文教委員会には事務局次長がきょう初めてなので、ひとつ皆さん、いい協力を取ってくれると思いますので、ひとつ、そのような意味でよろしく願いいたします。

御案内のとおり、きょうは、本年度の行政の視察調査、このことについて皆さんと協議し、決定をし、ことしは本当に中身のあるような、そういうふうなものをこれからの協議のもとで、充実した視察調査ができるように皆さんの意見を御協議しながら進めて決定していきたいと、このように思いますので、よろしく願いします。

そこで、まず、一つ一つ決めてまいりたいのですが、日程ですが、皆さんのお手元に日程案がありますが、5月7日月曜日から10日木曜日までの3泊4日で決定したいと、このように思います。よろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

○小田部委員長

さよう決定をいたしました。

それから、この視察調査の中身なのですけれども、委員の皆さん、今まで何回も相談をしてきた経緯がございます。

そのようなことで、御案内かと思いますが、伊勢原の視察、せっかくの希望があったのですが、先方の諸都合においてこれが断られたと、こういうふうな経過もございます。

そのようなことで、この行政視察の中身等については、正副委員長のもとで事務局に対応をお願いしましたので、あらあら事務局から説明をしていただいて、皆さんと認識を深め対応を、まだ視察の出発日までありますので、それぞれの対応をしていただいて、実ある視察調査をしたいと、このように思いますので、それでは、事務局ひとつ説明をお願いしたいと思います。

○瀬口主事

それでは、私のほうから、視察項目、視察先について若干説明させていただきます。

お手元に配付しております視察日程案の備考欄及び調査事項の資料編のほうを見ていただきたいと思います。

まず、1カ所目なのですけれども、友好都市で

ある神奈川県厚木市、そちらについては、シティセールス推進事業について視察したいと思っております。

ことしの2月には、所管する政策部次長とシティセールス課長が網走に来網しておりまして、「あつぎ食ブランド」など市の魅力と特性を内外にアピールする特徴的な施策を推進しているとの話でありますので、当市のさらなるアピールを図る上でも、参考になる取り組みだと考えております。

次に、2カ所目としましては、ちょうど友好都市の厚木市と天童市のほぼ中間に位置しているということで、福島県福島市のほうを視察したいと思っております。

御存じのとおり、福島については、東日本大震災と福島第一原発事故により甚大な被害を受けている地域でありますので、事故後の行政対応経過や、今後の展望並びに現在の市民生活の状況など、総括的な話について視察をしたいと考えております。

3カ所目になりますが、こちらは、観光物産交流都市であります山形県天童市ですが、視察内容については、地域づくり委員会活動についてということでもあります。

天童市は、公民館の活動が盛んな土地柄で、地域の課題の掘り起こしや各種課題を解決するために、地域ごとに地域づくり委員会が組織されまして、行政としても教育委員会が窓口になりまして、連携した取り組みを行っているという場所があります。

当市としましても、多様化する地域ごとの課題を解決するための行政のかかわりについて、非常に参考になるのではないかと考えております。

以上が3カ所の説明であります。別紙で配付しています調査事項というのがありまして、そちらは、各常任委員会共通の基本調査事項を記しております。

以上、簡単ですが、視察先と視察項目について説明いたしました。若干、補足説明をいたしますと、友好都市の議員懇親会というのを厚木市のほうが初日に設定してくれませんが、天童市からは、まだ先方から話は来ておりません。こちらについては、これから友好都市とお話をして、具体的に進めていきたいと考えております。

そのほか、日程のほうをさらに詰めていきま

て詳細な日程が決まりましたら、後日、私のほうから御自宅に送付させていただきます。

出発については、昨年同様、女満別空港に直接集合という形になりますので、若干、補足説明とさせていただきます。

以上です。

#### ○小田部委員長

ただいま瀬口主事から対応していただいた、すなわち日程の案、この中身について説明をしていただきました。

この中身でよろしいかどうか、日程は決定しましたので、中身の確認と決定をしていきたいと、このように思います。

入り口でお話しさせていただきましたとおり、ことしの総務文教委員会の行政視察調査につきましては、姉妹都市である天童、厚木。糸満まではちょっと場所的に行けないと。それを中心にして周辺で視察調査をしましょうと、こういうふうなことが委員会の委員の皆さん方との基本的な考えでございました。それで、伊勢原というふうな案もあったのですが、先方の御都合によってそれが実施できなくなったと。

よって、天童、厚木の間地点である福島市で今回の1年余の期間の中における状況、あるいは問題点、そういったことを、調査視察というよりも、福島市の生の声、生の苦悩を聞くことがとても大事な綱走における今後の議会のあり方としても参考になるのではないかと、こういうふうな認識で事務局に対応していただいたと、こういったことを御理解をいただいて、この中身について皆さんの意見をいただきながら決定していきたいと、このように思います。いかがでしょうか。

伊勢原はたまたま没になりましたけれども、これは井戸委員から言われた件ですけれども、井戸委員、この日程案の中身についていかがですか。

#### ○井戸委員

大変よいと思います。第一の目的の友好都市にお邪魔するということについて、中身的によろしいかと思えます。

特に、福島のほうにも、私もちょっと気になっていましたので、大変よいと思います。

#### ○金兵委員

今、井戸委員からもお話があったとおり、やっぱり、去年、震災が起こってから、いつかは東北のほうに視察に行けたらなという、この時期、

ちょうど1年たった時期、福島にも行けるということで、すばらしい視察日程ではないかなというふうに思っております。

#### ○飯田委員

厚木は、総務文教委員会では3回目なのでですね。それで、私は過去2回行っているのですけれども、たしか、もう6年ぐらい前だったと思えます。天童は初めてですよ。なかなか天童市は議運視察でも行ってないし、表敬訪問もできないところだったのですけれども、非常にそういう意味では、初めてなので、友好都市の中では天童が物産ということで限られていますけれども、どちらかという、糸満と厚木に比べると比重がなかなかかけにくいということなので、今回の機会に、友好都市の意味も含めて、総務文教委員会で行けるということは意味があると。

そういう意味で、この日程、欲張りっていったら、ちょっとあれなのですけれども、いいと思います。

#### ○山田委員

皆さんからあったように、友好都市という視点で、ほかの課題も視察の中で勉強させていただきますけれども、今、飯田委員からあったふうにとちょっと、移動の関係がちょっときつところがあるかもしれません。逆にそれが福島が視察できたという可能性もあるので、ぜひ、この形で進めたいと思います。

それで、厚木が議員さんと懇談が持てるということとして、天童にも余り御無理は言えませんが、議員同士の交流がもし実現できるのであればいいかなと思いますので、よろしくそのようお願いしたいです。

#### ○小田部委員長

副委員長、打ち合わせしていますけれども、副委員長も一言。

#### ○高橋副委員長

実は、私は、厚木市に訪問するのは、こういったことでは初めてです。

以前、物産展がちょっとあったときに、それにぶつけて行ったものですから、地元の商工会の人たちとは少々面識はありますけれども、こういった形のは初めてですので、本当によかったなと思っております。

ただ、天童につきましても、しばらく行っていませんので、その後どのようになっているのかな

ということは、やっぱり興味がございます。

福島につきましては、復興がされていっているのか、テレビを見ても、なかなか手のつけられない場所もありますので、そのような意味では、大変、そこまでは行けないでしょうけれども、以前から興味がありましたので、本当に楽しみにしております。

#### ○小田部委員長

皆さんの御意見、感想、それで、みんな賛成いただいたことで、委員長としても非常にありがたいと、このように思います。

釈迦に説法ですけれども、特にか入り口論で、姉妹提携をしている厚木、天童についてというふうなことしの行政視察というふうな柱を立てたのですけれども、事務局が説明したとおり、型どおりの資料はここに添付してございますけれども、まだ時間があるから、やっぱり本当に、だんだんの話にあったように、天童等の物産というふうなものは、この期間の経過の中でどういうふうに推移して現状どうなっているのか、将来それで本当に物産をメインとした友好都市提携としていいのかどうか、こういうふうなことが、厚木、あるいは、今回行かなくても糸満も同等な認識、評価、将来に対する展望と、こういうふうなものを持たなければならないのは理路当然だとこのように思うし、各委員ともそういう認識で今まで御発言をいただいておりますので、冒頭、釈迦に説法と、こういうふうに話しました。

期間がありますので、できるだけ、インターネットその他で調べながら、特にか両市は、これから皆さんと何点か、この行政視察に係る諸問題、諸対応について御相談をしていきますが、そのような事前の御努力もいただきながら、実ある視察にさせていただきたい、させていただきたい、このように思います。

それで、中身についても、これで決定をいたします。

次に、実は、事務局とも相談したのですが、非常に詳細な、この場合、あの場合というふうな項目といいますか、問題もあるのですが、横出して1回委員会を終わらせて平たい相談をしたら、こういうふうな対応の方法も考えたのですが、しかし、こういう時代でもあり、決して隠さなければならないような中身は一つもないと、こういうふうなことで、平場でひとつ委員の皆さんの御意見

をいただきながら、この行政視察に係る対応について御相談をしたいと、このように思います。

そこで、第1点目ですけれども、天童と厚木、この両市について、正副議長並びに首長、市長に対する表敬訪問並びに、お話、講話といいますかそういったものは、どのように対応したらよろしいか。皆さんの意見を聞きながら、その中身につきましては、これまた事務局に対応していただきますので、結果としては正副委員長にお任せと、こういうふうなことを前提としながらの皆さんの意向に沿った対応努力をしていきたいと、このように思います。いかがでしょう。

#### ○山田委員

今、委員長が言われたように、せっかく行くわけですから、市長、議長を含めてお会いできればと。最低限、対応して。

#### ○小田部委員長

所管委員は。

#### ○山田委員

それでも構いません。

#### ○小田部委員長

金兵委員、井戸委員、今の先輩たちの意向で100%丸ですね。

それでは、そのように事務局に御努力をいただきながら、対応の中身については、最終的に間があるものですから、正副委員長に御一任をさせていただくと、このようなことで努力をさせていただきます。

2番目、厚木と、これまた天童なのですが、両市とも姉妹都市ですから宿泊をすると、こういうふうになります。今の表敬訪問的なこととは別に、ぜひ、前段で皆さんの意見があったとおり、これからの展望も含めながら、対応、展望を含めながら、やっぱり、相手があることですから可能な限り、今言った関連の方々にも御参加を先方にいただく形で、懇談会というよりも食事をしながら、した後の、こういう意味での懇親会を、こちらから要請してもいいのではないかと。厚木はそのつもりで、事務局対応でやりましょうということでセッティングしてくれているようでございます。それであれば、天童もそのような呼吸で対応方お願いをすると、こういうふうにしたいと思いますが、いかがですか。

(「異議なし」の声あり)

#### ○小田部委員長

それでは、そのように確認をし、対応をさせていただきたいと、このように思います。

それから、もう1点、厚木と天童、これも同じですが、周辺の視察を、だんだんのお話がありました、初めて行く、あるいは、しばらく行っていなかった、いろんな意見がありますが、厚木の場合は、午前中にバスを手配してくれて、周辺視察を行ってくれます。当市からの私どもの希望の1カ所として、東京農業大学の厚木キャンパス、これがありますから、この辺も念頭に置きながら御案内をさせていただきたいと、こういうふうなこと。

さらに、すぐキャンパスの横に「ぼうさいの丘公園」というふうなものがあるそうですが、その辺も検討しておると。

それで、天童はまだ具体的な事務局対応に至っておりませんので、同様の許される時間で天童市のいろいろな施設なりそういったものを視察をさせていただき手配をこれまた当然お願いをし実施したいと、このように思っていますが、それに係って何か皆さんの御意見があれば、この際いただいております。今言ったような範疇でいいですか。

#### ○飯田委員

防災のやつは見ておいたほうがいい。備蓄の関係で大きい、防災時の備蓄をしている建物があります。

#### ○小田部委員長

私は厚木に一回も行っていません。

#### ○山田委員

私も初めてです。

#### ○小田部委員長

だけれども、飯田委員は何回も行ってはいる。そういう中身を全部承知している。

今度、逆に言うと天童は、山形県人会長ですから、ですから、中川イセのかかわりで姉妹提携の一端にもなったと、こういうふうなことで、それは一番詳しいのではないのでしょうか。

そのようなことで、みんなで委員会として行くわけですから、できるだけ今の、厚木は防災、それから、農大キャンパスという、天童は天童でいろいろなものがあります。田園の中に市民のコミュニケーションを図るための温泉施設があったり、いろいろあります。将棋の駒のそれこそ日本一ですから、そういった文化を、天童は天童の個性ある地域づくりをしていますから、そのようなこと

を事務局のほうに依頼をして、可能な範囲において有効に周辺視察ができるように事務局に協力してもらおうのですけれども、そういうふうな努力をしますので、これまた正副委員長にお任せをさせていただきたいと、このようなことでお願いいたします。

それから、ささいなことですけれども、最後に、お土産並びに懇親会の費用なのですけれども、これは、委員長のほうから委員に恐縮ですけれども、これは社会的に認知されるしあるいは別に、委員会できちっと公費の、公の総務文教委員会の行動ですよと、こういうふうな範疇、すなわち、公私の区別だけはきちっとして、公については十分、時代に、社会に対応できるような大義名分が必要であると、そのような認識に立って、天童、福島、厚木、この3カ所については、網走の特産と言われるような品を1個ずつ、各議員みんなに手渡しできればいいのですけれども、そういったことも、その性格上、儀礼的に1個ずつお土産は用意すると、こういうふうにしたいと思います。

お土産については、それでよろしいですね。

(「はい」の声あり)

#### ○小田部委員長

これもお任せいただきたいと思います。

については、2点目、先ほど懇親会の会費と言いました。

それで、原則、天童、厚木につきましては割り勘とこういうふうなことで、寄せていただく我々、総務文教委員会の委員ももとよりですけれども、先方にもそのような対応を、基本的な認識で要請お願いをします。

ただし、何かそういうふうな現場の対応の中で、その場で判断しなければならないというふうな問題が起きたときは、少なくとも、公費というそのきちっとした認識を逸脱しないように、きちっと委員長のもとで判断し対応しますので、その辺を御了承いただいて今回の視察に及びたいとこのように思いますので、その費用等についても、行政視察の費用がありますから、大義名分が立つものについては、きちっとそういう対応をしていきたいと、このように考えております。

このようなところですが、何か今まで御相談したことのかかわり、あるいは、その他でもいいですが、何かありましたら。

今言った、お土産と会費、割り勘のそのことについては、私の説明で理解して賛同いただけますか。

(「異議なし」の声あり)

#### ○小田部委員長

とかく、これは、あえて総務文教委員会として申し上げておきたいのですが、3 常任委員会が共通したしっかりした認識といたしますか、そして、認識するから対応があるので、そういうふうな部分がとれているか否かというふうなことは、この場で精査したり議論する性格のものではないのです。

でも、そういったことが議会としてとても大事な項目だなど、このような認識を委員長としても持っております。

その交通整理の原点は、公私の区分、大義名分が立つか立たないか、そういったことであるところのように思っていますので、ひとつ、そういう認識で正副委員長で対応していきますので、委員の皆さんの理解と協力をいただきたいと思っております。

そこで、今まで行政視察について相談してきましたが、附則の部分について、瀬口主事のほうから何か、このこと、あのことというのがあれば、ひとつ、委員の皆さんに、御相談、御協議をいただきたいと思っておりますが、ありませんか。

#### ○瀬口主事

今のところは大丈夫です。

#### ○小田部委員長

それでは、行政視察の日程と中身とその対応については、ただいままでの意見とその対応決定についてよろしいですね。

(「はい」の声あり)

#### ○小田部委員長

さよう決定をさせていただきます。

レポートですが、昨年同様の形で紙レポートを、行数だとかそんなことは言いません、好きなだけ出していただいて、それを正副委員長のところまでまとめて、今はもう全部インターネットで情報公開ですから、そのような対応をします。

去年の経過を踏まえて、ことしはこうあるべきだということがあれば、皆さんの御意見をいただきたいのですが、なければ、さよう、昨年に準じたレポートを作成し公開をすると、こういう認識でいただければと思います。

それでは、なければ、私のほうから、若干、1 点申し上げたいのですが、特にか、委員会、これまでの委員会の経過の中で、時期もこうやって非常に稼働時期に入ってくるその準備の時期だと思っておりますが、飯田委員が熱心に質疑応答した学校給食親子方式、このことについて、やはり委員長として、これは、ある意味、預かりではないのですけれども、そういう建設的な意見があったと、こういうふうな認識をしております。

そこで、飯田委員から、このことへの対応、時期的なこともありますから、そのことも含めて、ひとつ御発言をいただいておりますと、このように思います。

#### ○飯田委員

今、まだ予算として、実際、建設現場と、それから、まださまざまな行程の出された、運搬経路だとかのそういう、実際、委員会としては、審査は終わったと。政策は決定されたというだけではなくて、検証が必要であると。それを含めて、正副委員長にお考えいただきたいなど、閉会中に。

#### ○小田部委員長

たまたま、御案内のとおり予算の関係もこれはあります。その他の、それこそ、各議員の皆さん方には、委員会のみならず、1 年たったとこういうふうな一つの節目というのですか、時期的に差しかかります。その辺は、今、飯田委員がおっしゃっていただいたような、2 定前なのか、あるいは、2 定の後なのか等々の、飯田委員も含めて、やはり現場の、本当に給食親子方式が、拡大されるわけですから、今までやったからそれでいいのではなくて、やはり、総務文教委員会として、そういうふうな現状をきちっと把握しながら、適切な執行に資すると。こういうふうなことは、とても大事なことでこのように私は意見を受けておりますので、今後対応は、今、飯田委員からありましたように正副委員長に、そういう認識の上で今後の対応と、こういうふうなことで御理解をいただくことにしたいと、こういうふうに思います。

そのほか何かありませんか。

#### ○山田委員

今、飯田委員から出たように、委員長の配慮を含めてですけれども、私も、ぜひ給食親子方式、実際、建設が終わってからも、もし現場が可能でしたら、現場を見てもみるのも大事なかなと思います。

けれども、事前の説明を受けるのと、2回ぐらいにもしかしたらなる可能性もあるかもしれませんが、そこら辺もぜひ見てみたいと思います。

それと、もう1点、第3次の行政改革推進計画が出て、いろんなところで中身がいろいろ出てきたりして議論しているのですが、総務文教委員会の所管かなとちょっと思いますので、1回、理事者との意見交換の場を委員長のほうでセットしていただければ大変ありがたい。その1点をお願いしたいと思います。

#### ○小田部委員長

ただいまの山田委員の御発言、御意見ですけれども、これも第3次行革が、結果的にことしを入れて4年ですけれども、網走行政執行の基軸になると、こういうふうなことはもう紛れもない事実です。

しかも、こういうふうな時代的な地方財政の実態、これを考えると、いよいよもって、いろいろと精査をして、安全な効率的な行政運営を執行部にやらしてもらわなければならないと、こういう意味では、極めてこれまでの委員会の質疑の中にもありましたけれども、もっと具体的にローリングした質疑対応というのは、委員会としても当然の課題であろうと、このように思いますので、これについても、先ほど給食親子方式と同じような、そういうタイミングを見ながら機会をつくってまいりたいと、このように思います。

他にありませんか。

#### ○飯田委員

例の名鉄の、本当は、所管委員会は経済建設委員会なのですけれども、全体的なこと、これはやはり総務文教委員会だと思うのです。

特に、地元企業が譲渡されたから万々歳というわけにはいかないような内容、例えば、雇用の問題とか、実質3社ですけれども、四つの企業体なので、これらについては、さまざまな話を聞いております。

何か、1年は様子を見るだとか、雇用形態どうだとかとあって、実際、関連の従業員から聞くと全然わからないと。どうなっているのだというように話が直接来ています。

来ているので、やはり市のほうから、恐らく、いろんな協定の中で市がしっかりとかんでいると思うので、どのような内容なのか、私は、やっぱり明らかにして、若干の質疑というのですか、し

たいなと思っているのですけれども、委員長どうですか。

#### ○小田部委員長

委員長どうですかと同時に、委員の皆さんどうですかということなのですかね。

せっかく、飯田委員からそう振られたから私は言いますけれども、このことについては飯田委員も承知で発言されていますけれども、所管はとりあえずは経済建設委員会、こういうふうなことで、網走市政の総括、総体基盤、都市基盤にかかわることだと。まして、観光もそうです。こういうふうな認識で話されているので、それでは、総務文教委員会だけなのかと。それでは、バスにしてもハイヤーにしてもすべてを、地域活動の基盤ですから、そういう意味では、生活福祉委員会にもかかわる、福祉バスもそうですからね。だから、そういうふうな。

だとしたならば、委員長もさることながら、一議員としても、やはり方法の中で、これは総務文教委員会でそういう意見があって、どう対応すべきだと。直接の所管ではないけれどもという飯田委員からそういう意見が向けられて、とてもいいと思います。

だとしたならば、全員協議会でやるのかとか、あるいは、これとこの委員会との合同委員会という手法もあるし、特に、1期生はそういうふうな手法についてもいろいろ学びながら対応していただきたいと思いますけれども、こういったことは本当に、飯田委員の一言ですべてを語っているけれども、網走の地域活動、市民生活はもとい、すべてにかかわること。

だとしたならば、1回ぐらい、どういう形でどうするかは、どの機関で検討するのがいいのかは別にして、議員協議会ぐらいで理事者も交え、関係代表者も交えながらの、そういうことを質疑して対応するということは、とても大事なことだなと思いますが、どうですか。

#### ○山田委員

飯田委員から出たように、聞いていますと、18日に主な所管になる経済建設委員会が、その関係も含めて委員会が開催されるとちらっと耳にしているのですが、そこでどんな議論になるかは一つあるにしても、飯田委員から出た、また、委員長から話があったように、細かいことを言えば、スクールバスだって総務文教委員会と関係あるで

しょう。くっつけばですがね。

ただ、委員長が言われるように、根幹にやはり、公共交通、市民の足を守るという視点では経済建設委員会だけかなというふうに考えますと、連合審査という方法と全員協議会という方法もあるのだと思うので、私としては、18日にどんな審議になるか、ちょっと私もいないのですが、その後の動向を見ながら、総務文教委員会としてどうするかということ全体の中でまた考えるというのも重要であるのかなと、ちょっと思いましたので。

#### ○飯田委員

本来であれば、もっと早い時期に、閉会中に経済建設委員会を開いてくれて、逆に、行政側のほうも議会に示してくれればいいと思うのですけれども。

#### ○小田部委員長

今、先輩たちの意見を聞きながら私は話すのですけれども、今、飯田委員が言ったこと、とってもしそがあるのだよね。本当は、もっとも早い時代に所管であるところが、そこで所管委員会がやった経過を踏まえながら、連合で行くのか、全員協議会で行くのかどうなのかというふうなことを、もうやはり時間なのだから、世の中というのは。

だから、そういったことが、今、わかっていることを言ってくれているから、僕はあえて、あえて同じことなのだけれども言っているのは、そういう意味なのです。これは非常に大事なことで、結果的に言うと、今言った18日に我々が消防議会で愛知に行っていますけれども、その範疇であれ経過はわかりますから、そういう中で、一つには連合、一つには全員協議会、こういったことを想定しながら、恐らく、18日は関係者が来るのか来ないのか、恐らく、執行部が来るのではないかと、こう思います。

だとしたら、そういうふうなことの経過を踏まえながら、今後、総務文教委員会委員長として委員の皆さんにこう対しながら、どういう対応が適切なのか、こういうことですよ。これも、一つのとてもいい建設的な、今日的な課題ですから、正副委員長で対応させていただいて、適切な対応を求めていきたいと、このように思います。

ほかは。

(「なし」の声あり)

#### ○小田部委員長

なかったら、一つだけ委員の皆さんにお願いしたいのですが、これまで、ことし、平成24年度の適宜適切なときに、教育委員会、博物館やってもらったから、一つは山田委員にも、1期生の意向を聞きながら、2人もいるのですから、また何か、適切な課題と対応がとれるのであれば、ぜひ、そういった検討と提案をしていただいて、本当に総務文教委員会は私ども委員みんなでやる作業ですから、そのような進め方を示してもらいたいと、このように思いますので、委員の皆さんに委員長から特にお願いをしておきたいと、このように思います。

#### ○山田委員

各委員の御意見も聞きながら、ちょっと、とりまとめのような立場で考えてみます。

#### ○小田部委員長

その他、何かありませんか。

(「なし」の声あり)

#### ○小田部委員長

なければ、事務局ありませんね。

それでは、きょうは、行政視察のことについて、さらに各項目について意見を皆さんに出していただきました。

正副委員長としても、きわめて重大な課題なだけに、対応を一任されておりますけれども、適宜適切に検討していきたいとしますので、今後とも御協力をお願いしまして、総務文教委員会を終了させていただきます。

御苦労さまです。

午前10時39分 閉会